

地区防災マップ作成業務委託（灯台笹町） 特記仕様書

第1条（要旨）

本業務の履行にあたっては本特記仕様書による他、石川県土木部「土木部調査関係共通仕様書」および関係法令などに基づくものとする。

第2条（目的）

本業務は、石川県が策定する土砂災害対策アクションプログラムの施策の1つである「地区の防災意識向上プログラム」に係る地区防災マップの作成を支援するものである。

第3条（業務概要）

地区防災意識向上プログラムでは、能美市内の住民とともに土砂災害警戒区域のある地区を対象に、勉強会や危険個所の抽出、地区防災マップ作成のほか、避難訓練実施を一環して行うことで、住民の防災意識の向上と地区が継続的に防災訓練を行う仕組み作りの支援を目的としている。

本業務では、地区防災マップ作成時に必要な資料の作成等の補助、および地区から収集した情報等を基に地区防災マップを作成する。なお、本業務の対象とする地区は能美市灯台笹町とする。

業務内容は以下のとおりである。

（1）計画準備

本業務を遂行するにあたり、地区の防災意識向上プログラムの一連の活動の開催に合わせて、全体的な業務の工程を計画し、業務計画書を作成する。また、地区防災マップ作成にあたっては、配布時期を見据えて業務が円滑に遂行されるよう作業計画を立てる。

（2）貸与資料の整理

業務着手時に発注者から貸与される資料およびデータを整理する。貸与資料は以下のとおりとする。

- ・土砂災害警戒区域、河川浸水想定区域およびため池氾濫危険区域の shape データ
- ・能美市地域防災計画（避難所、緊急避難場所等）
- ・事前に対象地区より収集した情報（地区の危険箇所、情報伝達体制等）
- ・能美市が所有する航空写真
- ・その他業務遂行に必要な資料、データ

（3）マップ作成の補助

対象地区の勉強会でのマップ作成に関して発注者の補助（サポート）を行う。補助内容は以下のとおりである。

- ・事前準備（マップ作成時に使用する地図や筆記用具等の準備）
- ・議事録の作成

- ・マップ作成時に1名以上の参加

(4) 地区防災マップ作成

地区防災マップはA3 両面刷り2つ折りで作成する。また、表紙、情報面、地図面の構成で作成すること。

①表紙の作成

地区名、目的等、調査職員が指示するものを記載する。

図 1. 表紙作成例

②地図面の作成

地図面の作成については、一般的な GIS ソフト、または石川県土砂災害情報システム（以下、「SABO アイ」という）の防災マップ出力機能を使用して作成する。なお、防災マップに、河川浸水想定区域やため池浸水想定区域等を掲載する必要がある場合は、別途追加で掲載する。地図面の掲載内容は以下のとおりである。

- ・背景（航空写真）
- ・地区の位置図
- ・土砂災害（特別）警戒区域
- ・避難所および緊急避難場所
- ・勉強会時に収集した情報（地区の危険箇所、情報伝達体制等）
- ・河川浸水想定区域
- ・ため池氾濫危険区域

- [illegible]

③情報面の作成

避難情報等（警戒レベル）		
警戒レベル 5 緊急安全確保	命の危険（直ちに安全確保）	災害発生、状況確認して迅速対応
警戒レベル 4 避難指示	危険な場所から全員避難	災害の恐れが強い状況
警戒レベル 3 高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ※高齢者等のほか、避難行動に困難がある方（認知症の方など）も避難し、安全な場所に集合する。	災害の恐れが大きい状況
警戒レベル 2 大雨・洪水警戒	最も危険な場所を回避	先制防災対策を
警戒レベル 1 大雨注意警報	注意への心算を高める	今後発生可能性のあるとき

※警戒レベル5は必ずしも被害発生が確実であると見做るものではありません。
※警戒レベル4より警戒レベル5が決定した時、危険な場所から避難しましょう。

土砂災害の前兆現象

亀裂が伸びた！ 	水位が下がった！ 	石が落ちてきた！
湧水が止まった！ 	雨水が溜まってしまうので、お風呂やトイレの水を貯めておく。雨水が池や川へ流れ込むのを避けるようにしよう。	けずれがあった！
井戸水が濁った！ 	地鳴りがする！ 	湧水が出た！

避難時の注意点

以下のことに留意して避難しましょう。

- 川や橋には近づかないで、速やかに避難しましょう。
- 2人以上で避難しましょう。
- 濡れ衣類などは、建物の中や濡れた路面に敷いて避難しましょう。

自宅での備え

非常持ち出し品

いざという時に助かるために事前に準備しておきましょう。

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 軍手
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 現金・通帳
<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 身分証明書が使えるもの
<input type="checkbox"/> 携帯電話・充電電池	<input type="checkbox"/> 簡易乾電池式のラジオ
<input type="checkbox"/> ジーンズ	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 防寒着・セーター	<input type="checkbox"/> 車道通行用アルコール
<input type="checkbox"/> 栄養剤	<input type="checkbox"/> 産婦計

その他、家族構成にあわせて用意しましょう。

乳児・幼児がいる場合は：紙おむつ、紙ナプキン、おむつかぶせ、おむつ拭き、おむつ袋、おむつ用ゴミ袋、おむつ用バケツ、おむつ用スポンジ、おむつ用タオルなど

住宅周辺の点検

雨天にすぐ気づくような状態を確認しておきましょう。

- ☐ 雨漏りや雨水が詰まっているか
- ☐ 台風の場合は風で飛ばされる物がないか

浸水に備える

洪水が発生すると数分単位で水位を調べてください。

- ☐ 排水溝の上の段ボールを使った工法
- ☐ 排水口木枠を使った工法
- ☐ 土のうの設置
- ☐ 水中ポンプの設置

図 3. 情報面作成例

（５）納品用データ作成

納品用データについては、（４）で作成したデータを指定されたフォーマットにまとめて提出する。また、A3 マットコート紙 110 kgに、調査職員が指示する部数（100 部想定）を両面印刷する。なお、印刷前には色校正を行うこととする。

（６）報告書とりまとめ

地区防災マップ作成にあたっての業務内容を整理するとともに、作成経緯等をまとめ、業務報告書を作成する。また、SABO アイを使用した場合は、業務上の利点や欠点、改良要望も記載するものとする。

第４条（履行期間）

本業務の履行期限は、契約締結日より令和８年２月２７日までとする。

第５条（資料の貸与）

本業務の遂行にあたり、必要な資料を発注者から受託者が貸与を受けるものとする。なお、貸与を受けた資料については、業務目的以外に複製、譲渡、転用してはならない。また、業務終了後は、データの返却もしくは複製データの削除を行うものとする。

第６条（打合せ協議）

本業務の遂行にあたっては、業務着手時、中間、成果品納入時の計３回の打合せ協議を実施するものとする。

第７条（成果品）

本業務の成果品は以下のとおりとする。

- （１）報告書 ２部
- （２）電子データ １式
- （３）地区防災マップ １００部（想定）
- （４）その他調査職員が指示するもの １式

第８条（留意事項）

受託者は、業務着手前に十分調査職員と協議し、対外者等に対して不信を抱かせる行為を禁じると共に、誠意ある対応を取るものとする。

第９条（秘密事項の堅持）

受託者は、本業務の遂行により知り得た情報を発注者の承認を得ずに第三者に漏らしてはならない。また、本業務の業務完了後においても同様とする。

第１０条（成果品の帰属）

本業務で作成した成果品及び各種データは、全て発注者に帰属するものとし、受託者は

発注者の許可なくほかに公表、貸与又は使用してはならない。

第 11 条（その他疑義等）

本特記仕様書に定めなき事項及び疑義が生じた場合は、発注者、受託者協議の上決定するものとする。